

令和8年3月2日

保護者様

柏市立田中小学校  
校長 並木 孝樹

### 令和7年度「学校評価アンケート」の集計結果について

日頃より、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にご協力いただきました「学校評価アンケート」の集計が終わりましたので、下記の通りお知らせいたします。

保護者の皆様からいただいた評価、ご意見を真摯に受け止め、さらによりよい田中小学校になるよう教職員一丸となり努力いたします。今年度の温かいご支援、ご協力に感謝しつつ、来年度も引き続きのご支援をお願いいたします。

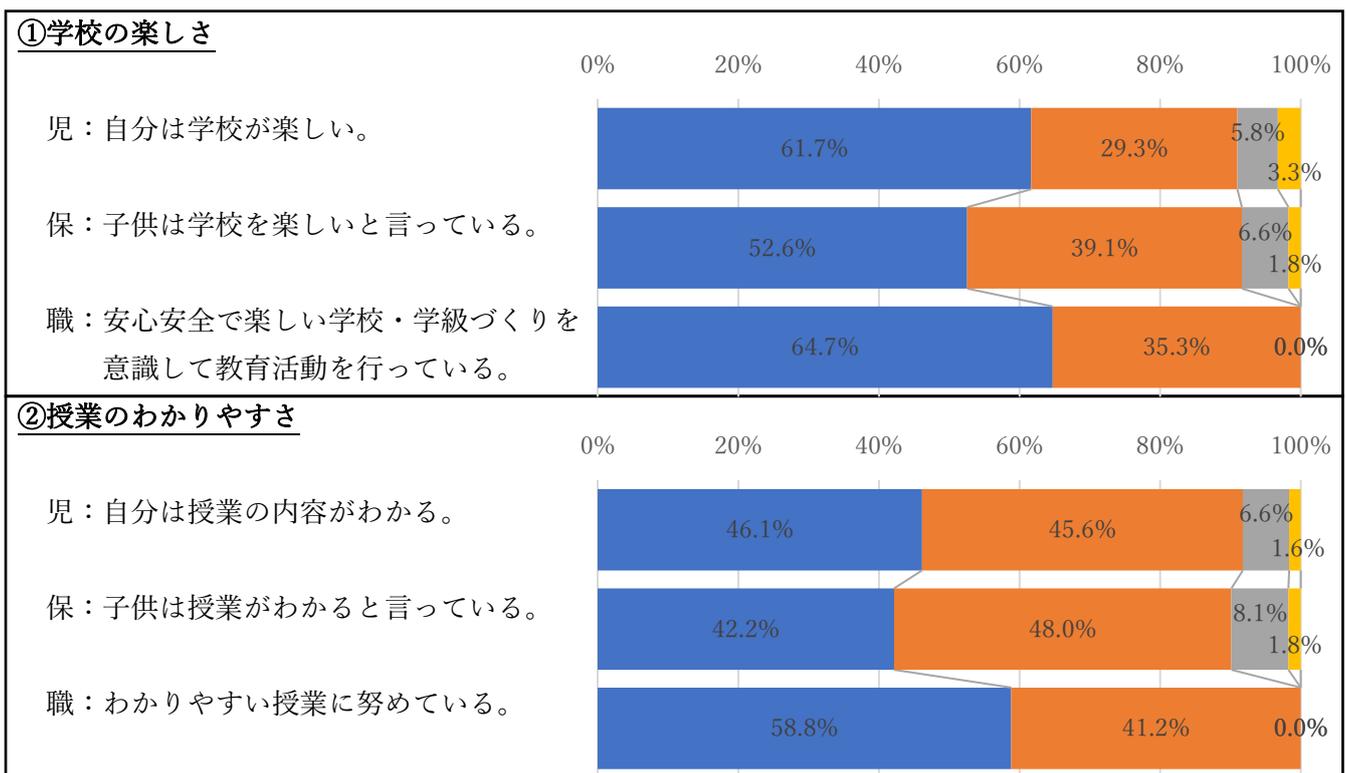
### 記

#### 1. アンケート回答率

児童99.2%      保護者79.7%      教職員100.0%

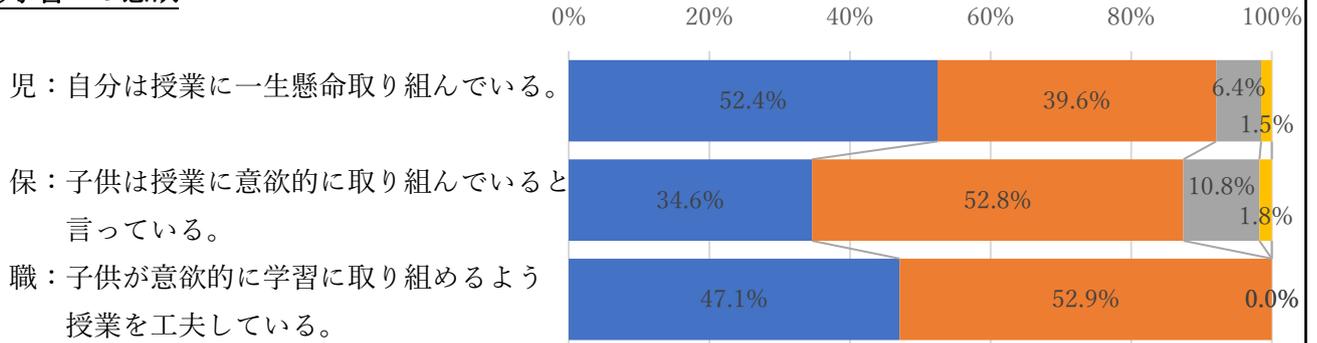
#### 2. アンケート結果

■ そう思う      ■ 大体そう思う      ■ あまりそう思わない      ■ そう思わない

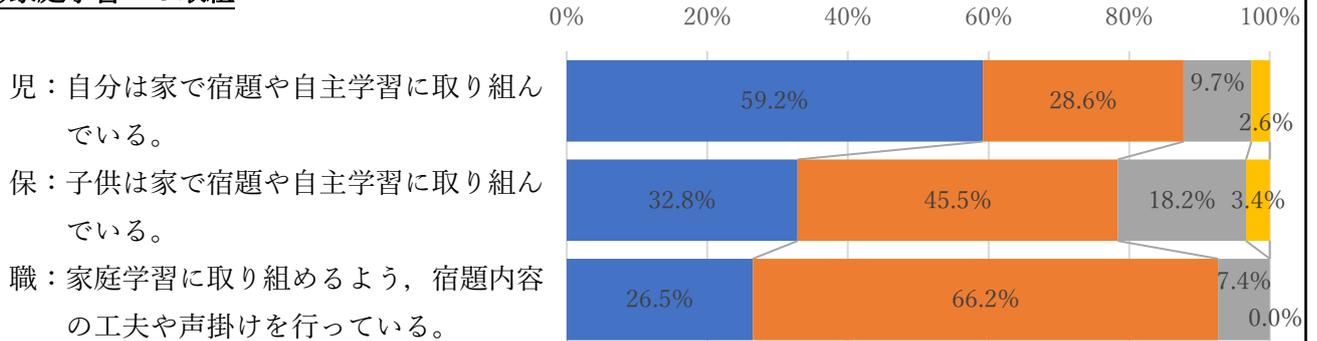




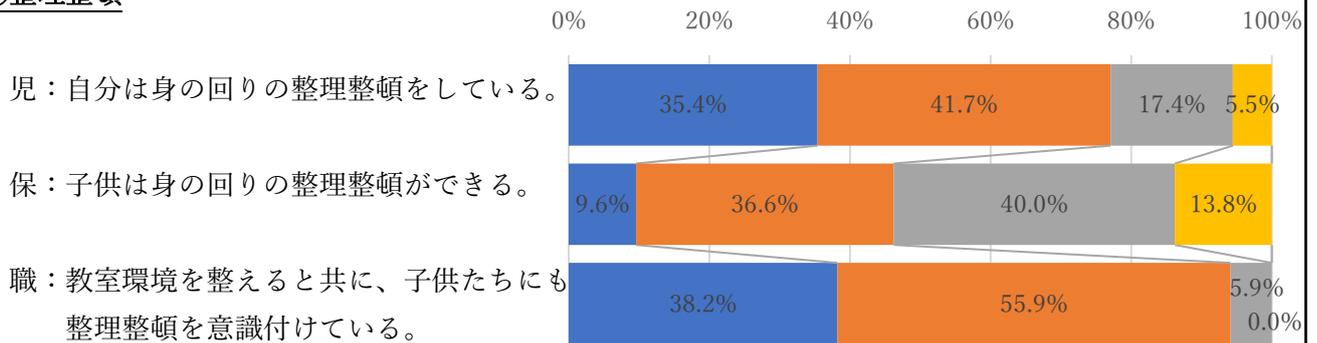
### ③学習への意欲



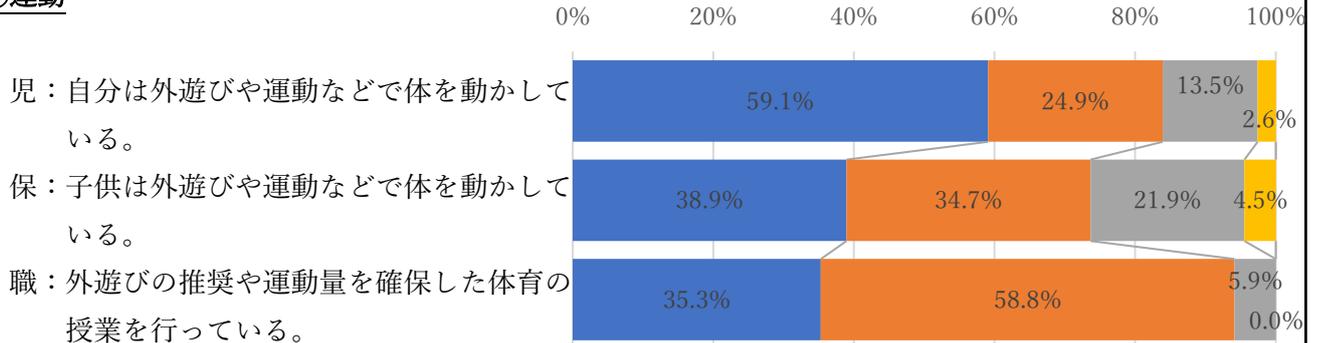
### ④家庭学習への取組



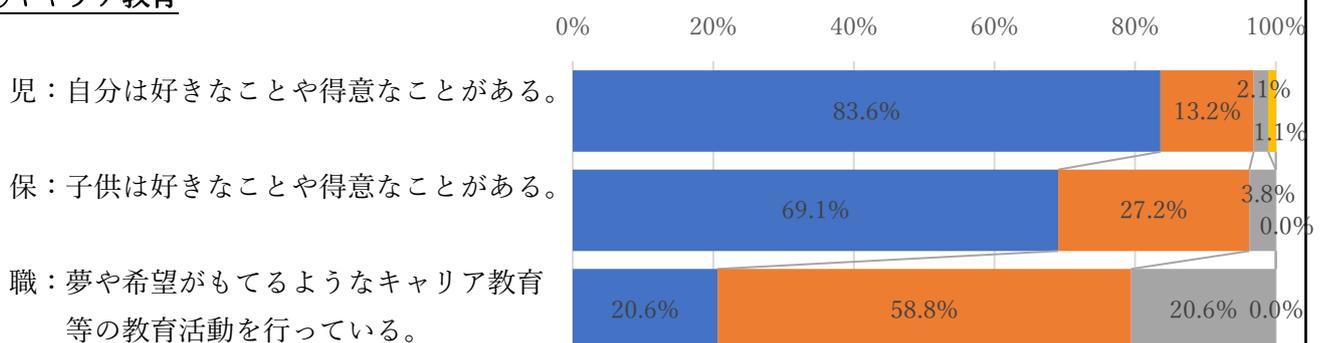
### ⑤整理整頓



### ⑥運動

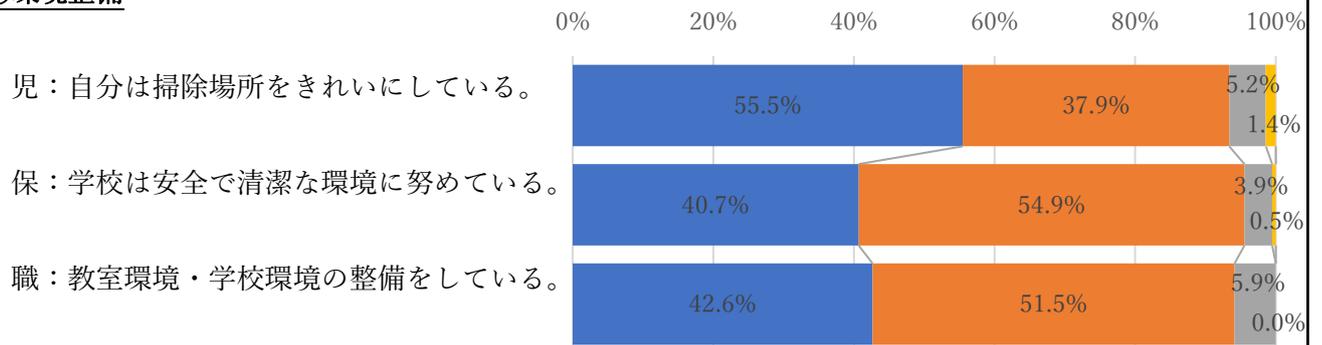


### ⑦キャリア教育

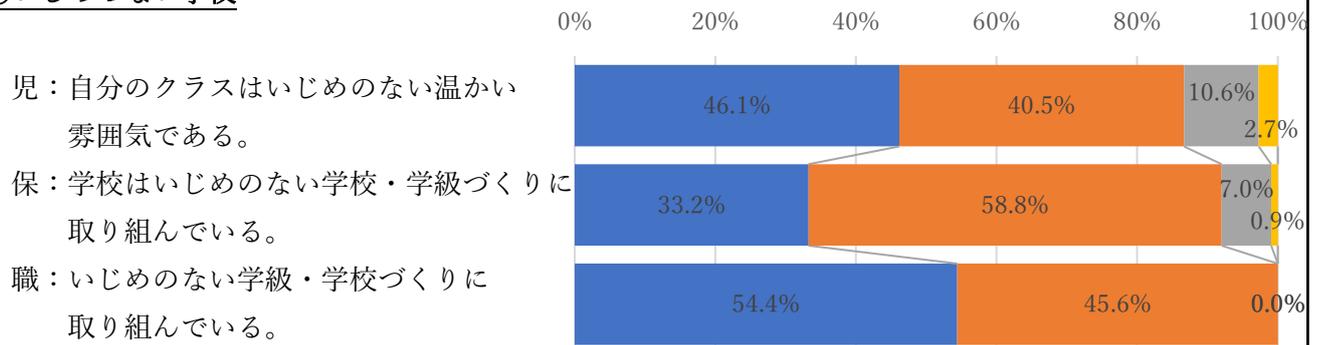




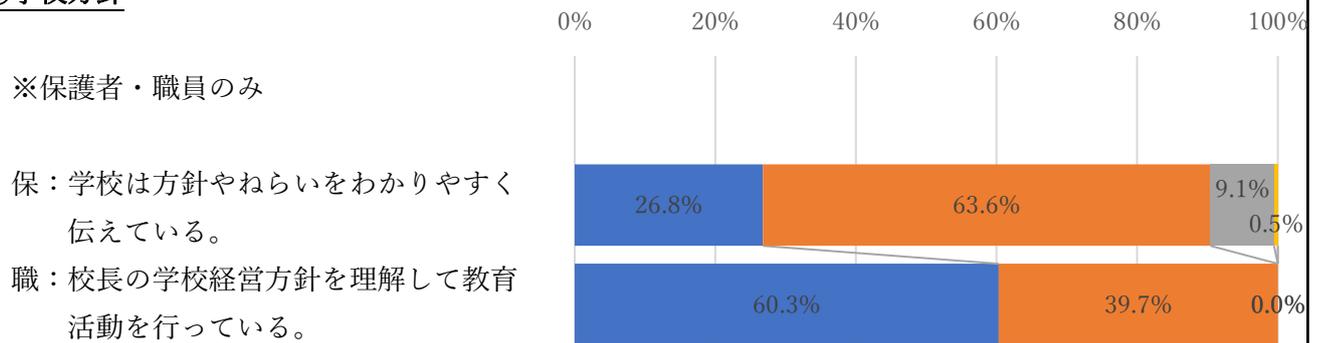
### ⑧環境整備



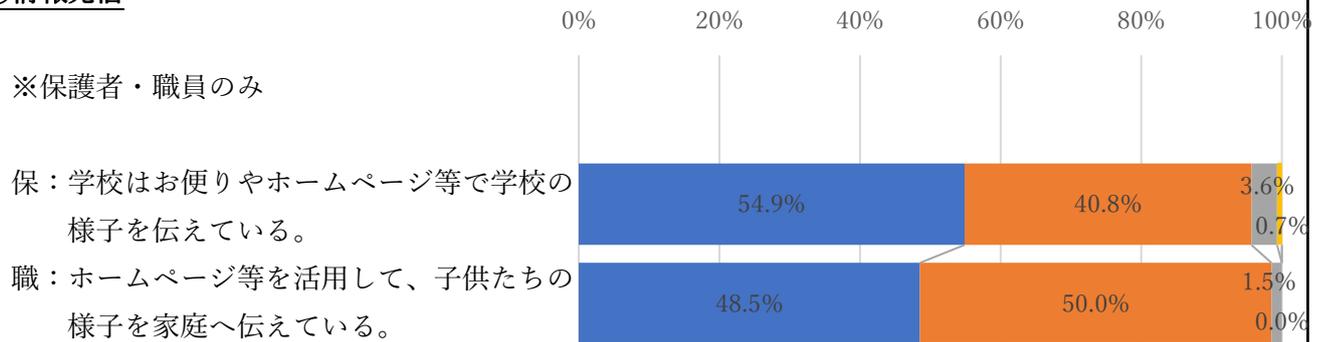
### ⑨いじめのない学校



### ⑩学校方針

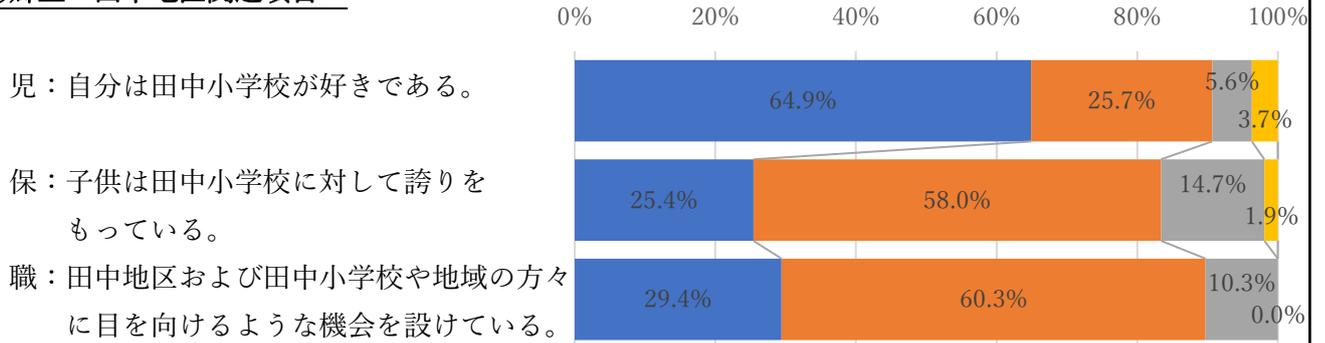


### ⑪情報発信

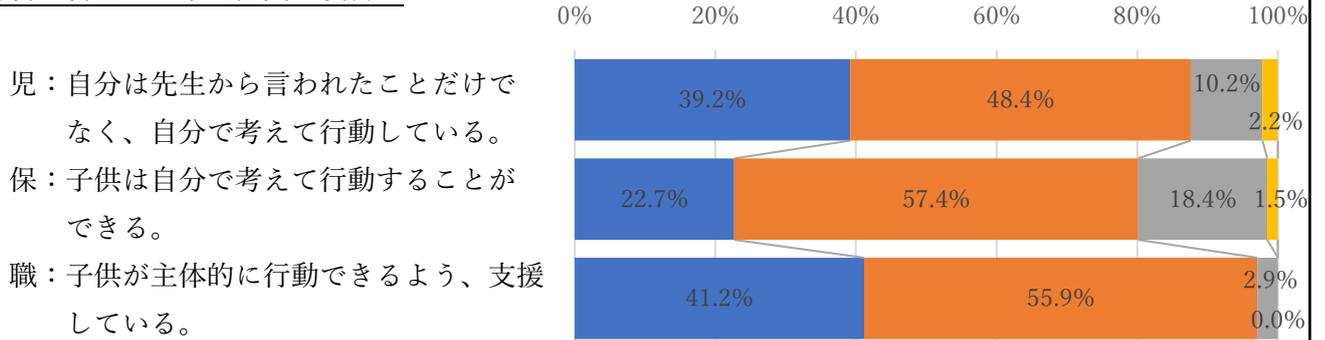


そう思う
  大体そう思う
  あまりそう思わない
  そう思わない

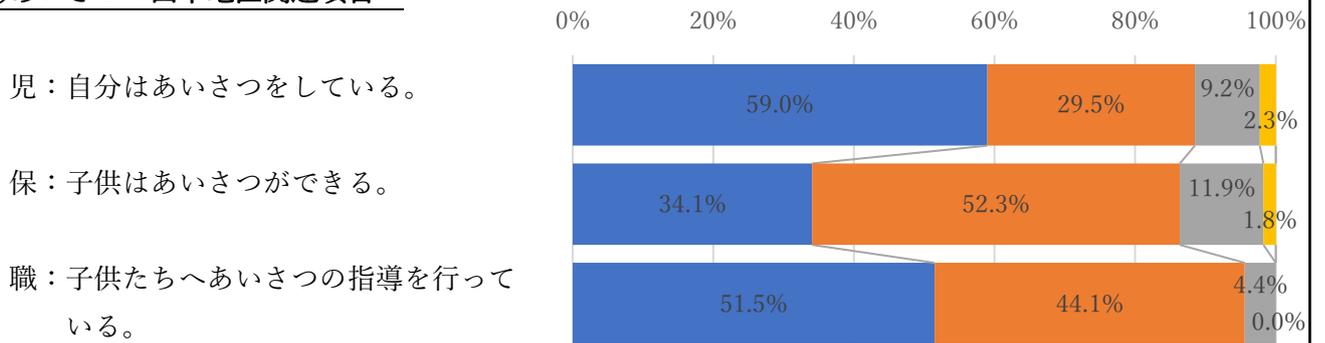
⑫郷土<田中地区関連項目>



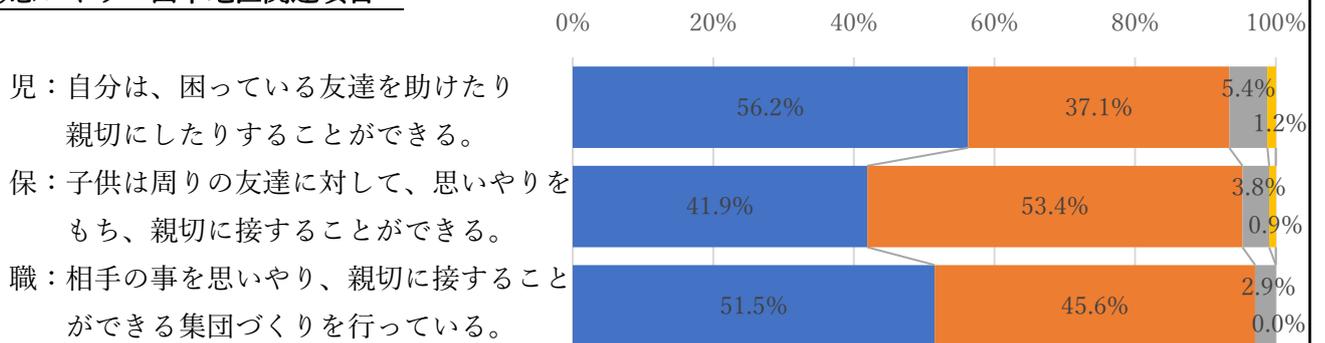
⑬自主自立<田中地区関連項目>



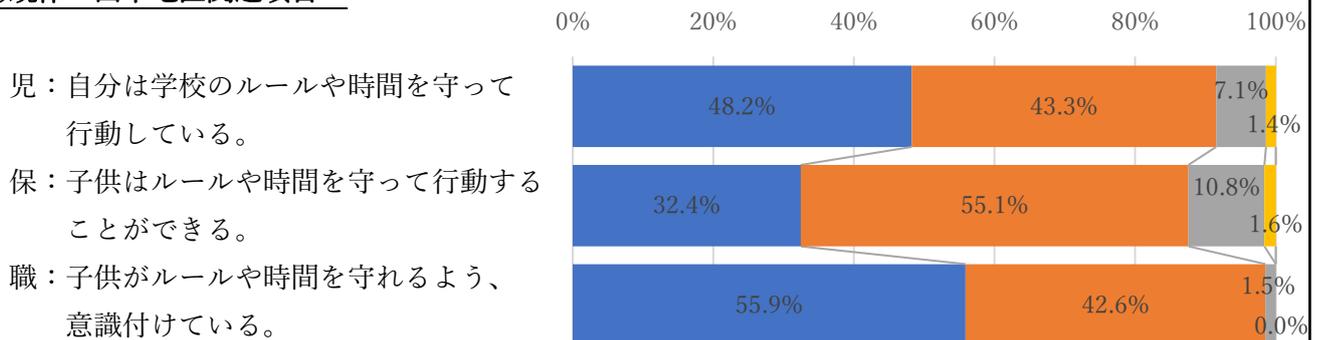
⑭あいさつ<田中地区関連項目>

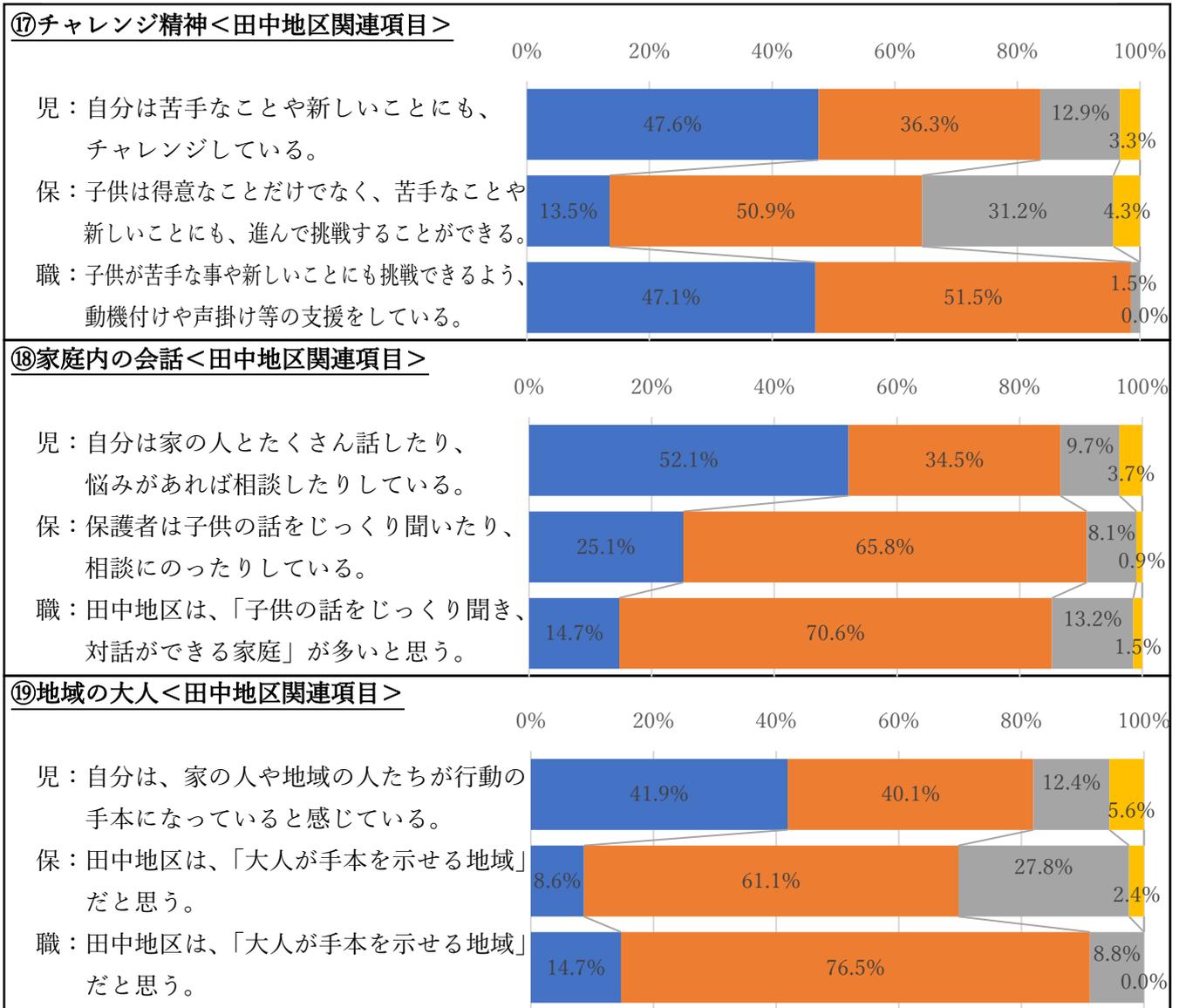


⑮思いやり<田中地区関連項目>



⑯規律<田中地区関連項目>





### 3. 分析

本アンケートの結果から、児童・保護者ともに、学校生活全体を前向きに捉えている割合が高く、本校が「安心して通える学校」として受け止められていることが分かりました。特に「学校の楽しさ」については、児童91.0%、保護者91.7%が肯定的に回答しており、多くの児童が日々の学校生活に充実感をもっている様子がうかがえます。

学習に関する項目では、「授業のわかりやすさ」が児童91.7%、保護者90.2%と高い評価となり、授業改善や指導方法の工夫が一定の成果を上げていると考えられます。「学習への意欲」についても、児童92.0%、保護者87.4%と良好な結果であり、児童が前向きに学習に向かっている姿が見られます。一方で、「家庭学習への取組」は児童87.8%に対し、保護者は78.3%となっており、家庭における学習の様子との間に差が生じていることが明らかになりました。

生活面に目を向けると、「整理整頓」は児童77.1%、保護者46.2%と、学校内での指導状況と家庭での実感との間に大きな隔たりが見られました。日常生活の基本的な習慣として、学校と家庭が連携しながら継続的に取り組む必要性が示唆されています。また、「運動」についても、児童84.0%、保護者73.6%と、他項目と比べてやや低い結果となっており、運動機会の確保や内容の工夫が課題として挙げられます。

「いじめのない学校づくり」については、保護者の肯定的回答が92.0%と高い一方、児童については86.6%となりました。この差から、表面化しにくい不安や思いを抱えている児童がいる可能性も考えられます。今後も、日常の見守りや対話を大切にするとともに、相談しやすい環境づくりを継続し、児童一人一人が安心して過ごせる学校を目指していきます。

#### 4. よりよい田中小学校にするためのアイデア等（保護者の方の主な記述）

- ・授業参観だけでなく、クラスの授業を見に行ける機会を増やしてほしい。普段の子供たちの自然な様子を見たい。
- ・タブレット PC を持ち帰るため、ランドセルが非常に重い。持ち帰るもの、学校に置いたままでよいものを区別し、子供の負担を減らして欲しい。
- ・田中小学校の児童数が増えてきたので、運動会やわくわくステージ等、保護者の参観方法を工夫して欲しい。また、保護者のマナーに疑問を感じるところがある。
- ・登下校時の安全や防犯面が心配である。時間のある保護者や地域の人が見守りに参加できる仕組みがあるとよい。
- ・PTA ボランティアでトイレ清掃をした際、汚れが気になった。保護者も学校に任せきりでなく協力していける仕組みがあると良いと思う。

#### 5. 改善策

##### （1）学習

- ①授業においては、学習のねらいを明確にし、児童が「何を学び、何ができるようになるのか」を意識して取り組めるように指導を行います。
- ②ICT 機器を効果的に活用し、考えを可視化したり、意見を共有したりする場面を増やすことで、主体的に学ぶ姿勢の育成を図ります。

##### （2）生活

- ①机やロッカーの荷物について整頓できているかを定期的を確認する機会を設け、日常的な生活習慣として身に付くよう指導していきます。
- ②いじめのない学校づくりを進めるため、児童アンケートや会話を通して、教職員が日常的に児童の様子を丁寧に観察すると共に、相談しやすい雰囲気醸成を進めます。学級担任だけでなく、教職員が連携して、複数の目で児童を見守っていきます。

##### （3）その他

- ①改めて持ち帰る荷物と学校に置いておく荷物の確認を行い、児童の負担軽減を進めます。
- ②日常の清掃活動について、清掃場所や役割分担を明確にし、児童が自分の担当場所を意識して取り組めるようにします。また、引き続きトイレ清掃ボランティアにご協力いただき、校内美化を進めていきます。

#### 6. コミュニティ・スクール（学校運営協議会）より

- ・子供たち自身が、「学校が楽しい」と思えることは素晴らしい。一方、楽しさを感じられない児童については、何が原因かを探る必要がある。
- ・整理整頓について、保護者から見て「できていない」と感じているようだが、家庭ではどうしているのか、どのような声掛けをしているかが気になった。

- ・登下校時の子ども達の様子や、下校後に自転車で遊びに行くときの安全面が気になる。
- ・いじめに関する項目で、不安を感じている児童がいる可能性があることに、心配がある。相談しやすいと思える雰囲気づくり、日々安心して過ごせるような環境づくりを進めて欲しい。
- ・あいさつやマナー面については、保護者や地域の大人が手本になる必要がある。
- ・保護者のつながりの薄さを感じている。保護者・学校・地域が連携して、子ども達のために何かできることがあれば、協力したい。

皆様、ご協力ありがとうございました。